

KOS0009-US

PATENT

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:

Hiroshi TANAKA, et al.

Art Group: To Be Assigned

Serial No. : To be assigned

Examiner: Not Yet Assigned

Filed: Herewith

For: ELECTRONIC CATALOG RECORDING MEDIUM AND ELECTRONIC
CATALOG DEVICE

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT UNDER 35 U.S.C. § 119**

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior application filed in the following foreign country is hereby requested and the right of the priority provided under 35 U.S.C. § 119 is hereby claimed:

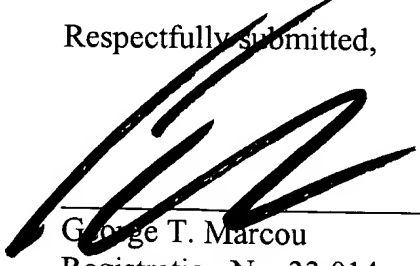
**Japanese Patent Application Serial No. 2000-125387 filed April 26, 2000; and
Japanese Patent Application Serial No. 2000-259249 filed August 29, 2000,**

a Certified Copy of each application is hereby submitted.

No fee is believed due, however, if any fee is involved, please charge deposit account number 501458. If there are any questions, please telephone the Applicants' representative at the number listed below.

Respectfully submitted,

Date: 4/18/01
KILPATRICK STOCKTON LLP
607 14th Street, N.W., Suite. 900
Washington, D.C. 20005
(202) 508-5800


George T. Marcou
Registration No. 33,014

BEST AVAILABLE COPY

#3
JC929 U.S. PTO
09/837230
04/19/01

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 4月26日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-125387

出 願 人
Applicant(s):

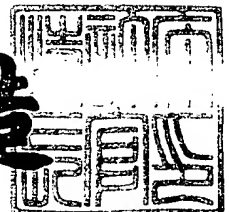
象印チエンブロック株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月16日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3019427

【書類名】 特許願

【整理番号】 100070

【提出日】 平成12年 4月26日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/30

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府大阪狭山市岩室2丁目180番地 象印チェンブ
 ロック株式会社内

 【氏名】 田中 廣

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府大阪狭山市岩室2丁目180番地 象印チェンブ
 ロック株式会社内

 【氏名】 岡本 智恵子

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府大阪狭山市岩室2丁目180番地 象印チェンブ
 ロック株式会社内

 【氏名】 津田 修作

【特許出願人】

 【識別番号】 000189132

 【氏名又は名称】 象印チェンブロック株式会社

 【代表者】 津田 修作

【代理人】

 【識別番号】 100085143

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 小柴 雅昭

 【電話番号】 06-6779-1498

【選任した代理人】

 【識別番号】 100103517

 【弁理士】

【氏名又は名称】 岡本 寛之

【電話番号】 06-6779-1498

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 040970

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子カタログ記録媒体および電子カタログ装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザが要求する特定のチェーンブロックを選択し得るチェーンブロックの電子カタログ記録媒体であって、

チェーンブロックの動力方式を選択する動力方式選択手段と、

前記動力方式選択手段によって選択された動力方式から、チェーンブロックの機種を選択するための機種選択手段と、

前記機種選択手段によって選択された機種について、チェーンブロックの型式を選択するための型式選択手段とが記録されていることを特徴とする、電子カタログ記録媒体。

【請求項 2】 さらに、前記型式選択手段によって選択された型式のチェーンブロックの標準仕様を表示する標準仕様表示手段と、

前記標準仕様を変更し得る仕様変更手段と、

その変更された変更仕様を表示する変更仕様表示手段とが記録されていることを特徴とする、請求項 1 に記載の電子カタログ記録媒体。

【請求項 3】 ユーザが要求する特定のチェーンブロックを選択し得るチェーンブロックの電子カタログ記録媒体であって、

チェーンブロックの型式を選択するための型式選択手段と、

前記型式選択手段によって選択された型式のチェーンブロックの標準仕様を表示する標準仕様表示手段と、

前記標準仕様を変更し得る仕様変更手段と、

その変更された変更仕様を表示する変更仕様表示手段とが記録されていることを特徴とする、電子カタログ記録媒体。

【請求項 4】 前記型式選択手段は、前記型式を直接入力する型式入力手段と、

前記チェーンブロックの使用条件を入力して型式を決定する型式決定手段とを備えていることを特徴とする、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の電子カタログ記録媒体。

【請求項 5】 前記型式選択手段によって選択された型式のチェーンブロックを図面に表示する図面表示手段を備えていることを特徴とする、請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の電子カタログ記録媒体。

【請求項 6】 ユーザが要求する特定のチェーンブロックを選択し得るチェーンブロックの電子カタログ記録媒体であって、チェーンブロックを特定するためのチェーンブロック特定手段と、前記チェーンブロックの動作条件を入力する動作条件入力手段とが記録されており、

前記チェーンブロック特定手段は、

チェーンブロックの動力方式を選択する動力方式選択手段と、

前記動力方式選択手段によって選択された動力方式から、チェーンブロックの機種を選択するための機種選択手段と、

前記機種選択手段によって選択された機種について、定格荷重および結合方式の入力により、チェーンブロックの型式を選択するための型式選択手段とを備えており、

前記動作条件入力手段は、

定格荷重を入力する定格荷重入力手段、

前記チェーンブロックの下フックの移動距離を入力する下フック移動距離入力手段、

前記チェーンブロックの動力が手動であるか、または、電動であるかを入力する手動・電動入力手段、

前記チェーンブロックの移動の有無および移動方向を入力する移動条件選択手段、および、

前記下フック移動距離入力手段、前記手動・電動選択手段および前記移動条件選択手段において入力された各入力値を記憶する記憶手段とを備えており、

前記チェーンブロック特定手段の、前記動力方式選択手段における動力方式の選択および前記型式選択手段における型式の選択を、前記動作条件入力手段における記憶手段において記憶されている前記入力値に基づいて選択し得るように構成されていることを特徴とする、電子カタログ記録媒体。

【請求項 7】 さらに、前記チェーンブロックを装備し得る特定の天井クレ

ーンを特定するためのクレーン特定手段が記録されており、
前記クレーン特定手段は、

走行方式を選択する走行方式選択手段と、

サドルを選択するサドル選択手段と、

ビームを選択するビーム選択手段とを備えており、

前記動作条件入力手段の前記移動条件選択手段において、走行方向が選択された場合に、前記クレーン特定手段の処理が実行されるように構成されていることを特徴とする、請求項 6 に記載の電子カタログ記録媒体。

【請求項 8】 請求項 1 ないし 7 のいずれかに記載の電子カタログ記録媒体を備えていることを特徴とする、電子カタログ装置

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、チェンブロックの電子カタログ媒体、詳しくは、ユーザが要求するチェンブロックの仕様を決定し得るプログラムが記録されている CD-R O M などの記録媒体からなる電子カタログに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

チェンブロックは、荷物の巻上げまたは巻下げを行なう装置として、各種の分野において広く使用されている。従来より、このようなチェンブロックを購入するにあたっては、チェンブロックのメーカーやその代理店の担当者などが、ユーザの使用条件などを詳しく聞いた上で、その条件に応じた型式のチェンブロックを選択するようにしている。

【0 0 0 3】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、ユーザ側において使用条件などが頻繁に変更になることも多く、そのような場合に、その都度、担当者が選択してはは大変煩雑となる。一方、ユーザ側において、最適のチェンブロックを選択することは難しく、特に、細かい仕様についてまで完全に把握することは困難である。

【 0 0 0 4 】

本発明は、このような不具合に鑑みなされたものであり、その目的とするところは、ユーザ側において、自己が要求するチェンブロックを、簡単かつ効率的に選択することのできるチェンブロックの、電子カタログ記録媒体を提供することにある。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため、請求項 1 に記載の発明は、ユーザが要求する特定のチェンブロックを選択し得るチェンブロックの電子カタログ記録媒体であって、チェンブロックの動力方式を選択する動力方式選択手段と、前記動力方式選択手段によって選択された動力方式から、チェンブロックの機種を選択するための機種選択手段と、前記機種選択手段によって選択された機種について、チェンブロックの型式を選択するための型式選択手段とが記録されていることを特徴としている。

【 0 0 0 6 】

このような電子カタログ記録媒体を用いると、ユーザは、まず、動力方式選択手段により、チェンブロックの動力方式を選択し、次いで、機種選択手段により、選択された動力方式からチェンブロックの機種を選択した後、型式選択手段により、選択された機種についての型式を選択することにより、自己が要求するチェンブロックを、順序だてて選択することができる。そのため、ユーザ側において、自己が要求するチェンブロックを簡単かつ効率的に選択することができる。

【 0 0 0 7 】

また、請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明において、さらに、前記型式選択手段によって選択された型式のチェンブロックの標準仕様を表示する標準仕様表示手段と、前記標準仕様を変更し得る仕様変更手段と、その変更された変更仕様を表示する変更仕様表示手段とが記録されていることを特徴としている。

【 0 0 0 8 】

このような手段によると、型式選択手段により型式が選択された後は、その型式のチェンブロックの標準仕様が表示される。そして、標準仕様から自己が要求する仕様に変更したい場合には、仕様変更手段により、その標準仕様を適宜変更すれば、その変更された変更仕様が、変更仕様表示手段により表示される。そのため、この電子カタログ記録媒体を用いると、型式まで選択すれば、すぐにその型式での標準仕様が表示されるので、その後は、標準仕様から変更したい仕様のみを適宜変更すれば、自己が要求する最適の仕様を効率的に選択することができる。

【 0 0 0 9 】

また、請求項 3 に記載の発明は、ユーザが要求する特定のチェンブロックを選択し得るチェンブロックの電子カタログ記録媒体であって、チェンブロックの型式を選択するための型式選択手段と、前記型式選択手段によって選択された型式のチェンブロックの標準仕様を表示する標準仕様表示手段と、前記標準仕様を変更し得る仕様変更手段と、その変更された変更仕様を表示する変更仕様表示手段とが記録されていることを特徴としている。

【 0 0 1 0 】

このような電子カタログによると、型式選択手段により型式が選択された後は、その型式のチェンブロックの標準仕様が表示される。そして、標準仕様から自己が要求する仕様に変更したい場合には、仕様変更手段により、その標準仕様を適宜変更すれば、その変更された変更仕様が、変更仕様表示手段により表示される。そのため、この電子カタログ記録媒体を用いると、型式まで選択すれば、すぐにその型式での標準仕様が表示されるので、その後は、標準仕様から変更したい仕様のみを適宜変更すれば、自己が要求する最適の仕様を効率的に選択することができる。

【 0 0 1 1 】

また、請求項 4 に記載の発明は、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の発明において、前記型式選択手段は、前記型式を直接入力する型式入力手段と、前記チェンブロックの使用条件を入力して型式を決定する型式決定手段とを備えていることを特徴としている。

【0012】

型式選択手段に、型式入力手段および型式決定手段を備えることにより、たとえば、ユーザにおいて型式を特定している場合には、型式入力手段において、その型式を入力すれば、直ちに型式を選択することができ、また、ユーザにおいて型式が特定されていない場合には、型式決定手段において、使用条件を入力することにより、型式を選択することができる。したがって、ユーザの知識に応じて、効率的に型式を選択することができる。

【0013】

また、請求項5に記載の発明は、請求項1ないし4のいずれかに記載の発明において、前記型式選択手段によって選択された型式のチェンブロックを図面中表示する図面表示手段を備えていることを特徴としている。

【0014】

このような図面表示手段を備えていると、標準仕様のチェンブロックや、その後に変更された変更仕様のチェンブロックが、適宜、図面中表示されるので、ユーザは、その仕様に応じたチェンブロックを視覚で認識することができる。

【0015】

また、請求項6に記載の発明は、ユーザが要求する特定のチェンブロックを選択し得るチェンブロックの電子カタログ記録媒体であって、チェンブロックを特定するためのチェンブロック特定手段と、前記チェンブロックの動作条件を入力する動作条件入力手段とが記録されており、前記チェンブロック特定手段は、チェンブロックの動力方式を選択する動力方式選択手段と、前記動力方式選択手段によって選択された動力方式から、チェンブロックの機種を選択するための機種選択手段と、前記機種選択手段によって選択された機種について、定格荷重および結合方式の入力により、チェンブロックの型式を選択するための型式選択手段とを備えており、前記動作条件入力手段は、定格荷重を入力する定格荷重入力手段、前記チェンブロックの下フックの移動距離を入力する下フック移動距離入力手段、前記チェンブロックの動力が手動であるか、または、電動であるかを入力する手動・電動入力手段、前記チェンブロックの移動

の有無および移動方向を入力する移動条件選択手段、および、前記下フック移動距離入力手段、前記手動・電動選択手段および前記移動条件選択手段において入力された各入力値を記憶する記憶手段とを備えており、前記チェンブロック特定手段の、前記動力方式選択手段における動力方式の選択および前記型式選択手段における型式の選択を、前記動作条件入力手段における記憶手段において記憶されている前記入力値に基づいて選択し得るように構成されていることを特徴としている。

【 0 0 1 6 】

このような電子カタログ記録媒体を用いると、まず、動作条件入力手段において、定格荷重入力手段により定格荷重を入力し、下フック移動距離入力手段によりチェンブロックの下フックの移動距離を入力し、手動・電動選択手段によりチェンブロックの動力が手動であるか、または、電動であるかを入力し、移動条件選択手段によりチェンブロックの移動の有無および移動方向を入力すれば、これらの各入力値が記憶手段に記憶される。そして、チェンブロック特定手段によってチェンブロックを特定する場合において、動力方式選択手段により動力方式を選択する時には、記憶手段に入力された入力値により電動か手動かが自動的に選択され、次いで、機種選択手段によりユーザがチェンブロックの機種を選択した後に、型式選択手段により型式を選択する時には、記憶手段に入力された入力値により、定格荷重および結合方式が自動的に選択され、これによって、ユーザが要求する型式のチェンブロックを、より使用状態に対応した形式で簡単かつ効率的に選択することができる。

【 0 0 1 7 】

また、請求項 7 に記載の発明は、請求項 6 に記載の発明において、さらに、前記チェンブロックを装備し得る特定の天井クレーンを特定するためのクレーン特定手段が記録されており、前記クレーン特定手段は、走行方式を選択する走行方式選択手段と、サドルを選択するサドル選択手段と、ビームを選択するビーム選択手段とを備えており、前記動作条件入力手段の前記移動条件選択手段において、走行方向が選択された場合に、前記クレーン特定手段の処理が実行されるように構成されていることを特徴としている。

【 0 0 1 8 】

このような電子カタログ記録媒体を用いると、動作条件入力手段において、チェーンブロックの移動が有りで、かつ、移動方向として走行方向が選択された場合には、そのまま、クレーン特定手段の処理が実行され、走行方式選択手段により走行方式を、サドル選択手段によりサドルを、ビーム選択手段によりビームをそれぞれ選択することにより、チェーンブロックを備えるクレーンシステムを、簡単かつ効率的に構築することができる。

【 0 0 1 9 】

また、請求項 8 に記載の発明は、電子カタログ装置であって、請求項 1 ないし 7 のいずれかに記載の電子カタログ記録媒体を備えていることを特徴としている。

【 0 0 2 0 】

このような電子カタログ記録媒体を備えていると、ユーザ側において、自己が要求するチェーンブロックを簡単かつ効率的に選択することができる。したがって、使用条件などに応じて、ユーザ側で、その都度、最適のチェーンブロックを選択することができる。

【 0 0 2 1 】

【発明の実施の形態】

図 1 は、本発明の電子カタログ装置としてのコンピュータシステムの一実施形態を示すブロック図である。このコンピュータシステム 1 には、装置の制御を実行する CPU 2、制御プログラムが格納される ROM 3、ワークメモリが格納される記憶手段（メモリ）としての RAM 4、電子カタログ記録媒体としての CD-ROM 1 2 が装填再生される CD-ROM 再生装置 5、表示手段としての CRT 6、入力手段としてのキーボード 1 3 が接続されるキーボード用インターフェース 7、マウス 1 4 が接続されるマウス用インターフェース 8、プリンタ 1 5 が接続されるプリンタ用インターフェース 9、電話回線 1 6 が接続されるモデム 1 0 が設けられており、CPU 2 に、バス 1 1 を介してこれら各部が接続されている。

【 0 0 2 2 】

そして、CD-ROM 1 2 には、チェーンブロックの電子カタログが記録されており、CD-ROM 再生装置 5 に CD-ROM 1 2 が装填されると、CPU 2 が、その CD-ROM 1 2 に記録されている、チェーンブロック特定手段としてのチェーンブロック特定プログラム、動作条件入力手段としての動作条件入力プログラムおよびクレーン特定手段としてのクレーン特定プログラムを有するクレーン構築プログラムなどの各種のプログラムを読み出して、RAM 4 に書き込むことにより、以下の処理が実行される。

【 0 0 2 3 】

図 2 は、チェーンブロック特定プログラムの処理を示すフロー図である。図 2 を参照して、まず、この電子カタログのチェーンブロック特定プログラムによる処理について説明する。

【 0 0 2 4 】

この処理は、たとえば、CD-ROM 1 2 が装填された時に、自動的に立ち上がるようにしてもよく、また、その他のプログラムと同時に表示されるメニュー画面から選択するようにしてもよい。この処理が開始されると、まず、動力方式選択手段としての動力方式選択プログラムが作動して、図 3 に示すように、チェーンブロックの動力方式が、手動式であるか電動式であるかを選択する動力方式選択ダイアログが表示される。

【 0 0 2 5 】

この動力方式選択ダイアログにおいて、ユーザは、手動式チェーンブロックを選択する場合には選択ボタン 1 7 をクリックし、また、電動式チェーンブロックを選択する場合には選択ボタン 1 8 をクリックする (S 1)。その後、OK ボタン 1 9 をクリックすると、次に、機種選択手段としての機種選択プログラムが作動して、その指定された動力方式に応じた機種を選択する機種選択ダイアログが表示される。

【 0 0 2 6 】

たとえば、図 4 には、動力方式選択ダイアログにおいて選択ボタン 1 8 がクリックされた状態で OK ボタン 1 9 がクリックされ、電動式チェーンブロックの機種を選択するための機種選択ダイアログが示されている。この機種選択ダイアロ

グにおいては、各機種の写真 2 0 が表示されるとともに、その写真 2 0 の上にポインタを位置させると、その機種の特徴などが画面に表示される。そして各写真 2 0 には、それぞれ対応する選択ボタン 2 1 が設けられており、ユーザは、自己が希望する機種の選択ボタン 2 1 をクリックする（S 2）。その後、OK ボタン 2 2 をクリックすると、次に、型式選択手段としての型式選択プログラムが作動して、図 5 に示すように、型式を直接入力するか、あるいは、チェンブロックの使用条件を入力して型式を決定するナビゲートを実行するかの選択を行なうための検索方式選択ダイアログが表示される。

【 0 0 2 7 】

なお、電動式チェンブロックが選択されている場合には、検索方式選択ダイアログが表示される前に、電源仕様を選択するための電源仕様選択ダイアログ（図示せず。）が表示されるので、その電源仕様選択ダイアログにおいて、相数（単相または三相）、周波数（5 0 k H z または 6 0 k H z）、電源コードの長さなどを適宜選択または入力する。

【 0 0 2 8 】

検索方式選択ダイアログにおいて、ユーザが既に希望する型式を把握している場合には、型式の選択ボタン 2 3 をクリックし、ユーザが型式を把握していない場合には、ナビゲートの選択ボタン 2 4 をクリックし、その後、OK ボタン 2 5 をクリックする。このようにして、ユーザが既に希望する型式を把握している場合には、型式の選択ボタン 2 3 をクリックして、OK ボタン 2 5 をクリックすれば（S 3 : N O）、次いで、型式入力手段としての型式入力プログラムが作動して、型式を入力する型式入力ダイアログ（図示せず。）が表示されるので、その型式入力ダイアログにおいてユーザが型式を入力（S 4）すれば、直ちに型式を選択することができる。なお、この型式の入力において、ユーザが完全に型式を把握していなくても、たとえば、最初の型番を入力してその後に「*」を入力すれば、「*」以降の型式のものも、あいまい検索によって検索が可能とされている。たとえば、「D A G *」と入力すれば、その結果として、「D A G - 0 . 5」、D A G - 1 S」などが検索される。

【 0 0 2 9 】

一方、ユーザが型式を把握していない場合には、ナビゲートの選択ボタン 2 4 をクリックして、OK ボタン 2 5 をクリックすれば (S 3 : Y E S)、次いで、型式決定手段としての型式決定プログラムが作動して、ナビゲートが実行され、チェーンブロックの使用条件を入力することにより、型式を決定することができる。したがって、ユーザの知識に応じて、効率的に型式を選択することができる。

【 0 0 3 0 】

すなわち、ナビゲートの選択ボタン 2 4 をクリックして、OK ボタン 2 5 をクリックすると、まず、定格荷重を選択する定格荷重選択ダイアログ (図示せず。) が表示されるので、その定格荷重選択ダイアログにおいてユーザが希望する定格荷重を選択する (S 5)。定格荷重が選択されると、次いで、結合方式を選択する結合方式選択表示画面 2 9 および標準仕様を表示する標準仕様表示画面 3 0 を有する表示ダイアログが表示される。

【 0 0 3 1 】

たとえば、図 6 には、電動式チェーンブロックの表示ダイアログが示されている。この表示ダイアログの結合方式選択画面 2 9 においては、フック式、ギヤードトロリ式、ブレントロリ式および電気トロリ式の各結合方式の写真 2 6 が表示されるとともに、その写真 2 6 の上にポインタを位置させると、その結合方式の特徴などが画面に表示される。なお、電気トロリ式は、手動式チェーンブロックが選択されている場合には表示されない。そして各写真 2 6 には、それぞれ対応する選択ボタン 2 7 が設けられており、ユーザは、自己が希望する結合方式の選択ボタン 2 7 をクリックし、その後、OK ボタン 2 8 をクリックする (S 6) と、ユーザが希望するチェーンブロックの型式が特定され (S 7)、次いで、標準仕様表示手段としての標準仕様表示プログラムが作動することにより、その特定されたチェーンブロックの標準仕様が、標準仕様表示画面 3 0 に表示される (S 8)。

【 0 0 3 2 】

なお、電動式チェーンブロックが選択されている場合には、標準仕様表示画面 3 0 において標準仕様が表示される前に、巻上速度 (標準または 2 速)、押しボ

タンケーブル長さ、押しボタン総数、横行速度（標準、低速、2速：電気トロリ式が選択された場合のみ）などを選択するための各種のダイアログ（図示せず。）が表示され、それらを適宜選択または入力する。

【0033】

そして、ユーザは、標準仕様表示画面30に表示された標準仕様を確認して、自己が希望する仕様に変更したい場合（S9：YES）には、仕様変更手段としての仕様変更プログラムを作動させることにより、その標準仕様を適宜変更することができる。すなわち、標準仕様表示画面30に表示される仕様のうち、たとえば、揚程、バケット、移動用手鎖などの細かい仕様について変更したい場合には、その変更したい欄にポインタを位置させて、適宜選択または入力すればよい。

【0034】

このようなナビゲートによって、チェンブロックを型式まで選択すれば、すぐにその型式での標準仕様が表示されるので、その後は、ユーザが、標準仕様から変更したい仕様のみを適宜変更すれば、自己が要求する最適の仕様を効率的に選択することができる。したがって、たとえば、型式を選択した後にも、細かい仕様を順次選択してチェンブロックを選択する場合に比べて、迅速かつ効率的に最適のチェンブロックを選択することができる。

【0035】

なお、型式入力ダイアログにおいて、型式を入力している場合（S4）にも、それによってチェンブロックの型式が特定され（S7）、その特定された型式のチェンブロックの標準仕様が、標準仕様表示画面30に表示され（S8）、ユーザは、その標準仕様を適宜変更することができるようになっている。

【0036】

そして、必要により細かい仕様を変更した後（S9：NO）には、OKボタン28をクリックすると、図面表示手段としての図面表示プログラムが作動して、その特定された型式および仕様のチェンブロックの図面および仕様が表示されるチェンブロック仕様ダイアログが表示される（S10）。このチェンブロック仕様ダイアログは、たとえば、図7に示すように、特定されたチェンブ

ックの図面が左欄 3 2 に表示されるとともに、その仕様が右欄 3 3 に表示される。これによって、ユーザは、その仕様に応じたチェンブロックを視覚で認識することができる。また、このデータには、転送ファイル名 3 4 が付与されるので、そのままコピーし、あるいは、C A D データとして読み込ますことも可能であり、また、モデム 1 0 を介してインターネットで送信することも可能である。

【 0 0 3 7 】

このような電子カタログのチェンブロック特定プログラムによると、ユーザは、まず、動力方式選択プログラムにより、チェンブロックの動力方式を選択し、次いで、機種選択プログラムにより、選択された動力方式からチェンブロックの機種を選択した後、型式選択プログラムにより、選択された機種についての型式を選択することにより、自己が希望するチェンブロックを、順序だてて選択することができる。そのため、ユーザ側において、自己が希望するチェンブロックを簡単かつ効率的に選択することができる。

【 0 0 3 8 】

図 8 は、クレーン構築プログラムの処理を示すフロー図である。次に、図 8 を参照して、クレーン構築プログラムによる処理について説明する。このクレーン構築プログラムは、ユーザがわかりやすいように、予め動作条件入力プログラムによってチェンブロックの動作条件を選択しておき、次いで、チェンブロック特定プログラムをリンクさせて特定のチェンブロックを選択し、必要によりクレーン特定プログラムを作動させて、ユーザが希望するクレーンシステムを構築するものである。

【 0 0 3 9 】

この処理は、たとえば、C D - R O M 1 2 が装填された時に、自動的に立ち上がるようにしてもよく、また、その他のプログラムと同時に表示されるメニュー画面から選択するようにしてもよい。この処理が開始されると、まず、動作条件入力プログラムが作動して、定格荷重入力手段としての定格荷重入力プログラムの作動により、図 9 に示すような、荷物の重さ（最大値）を入力する定格荷重入力ダイアログが表示される。この定格荷重入力ダイアログにおいて、荷物の重さ（最大値）を入力した後（S 1 1）、O K ボタン 3 5 をクリックする。そうする

と、次に、下フック移動距離入力手段としての下フック移動距離入力プログラムの作動により、図 1 0 に示すような、チェンブロックの下フックの移動距離を入力する下フック移動距離入力ダイアログが表示される。この下フック移動距離入力ダイアログにおいて、下フックの移動距離（最大値）を入力した後（S 1 2）、OK ボタン 3 6 をクリックする。そうすると、次に、手動・電動入力手段としての手動・電動入力プログラムの作動により、チェンブロックの動力が手動であるか、または、電動であるかを入力する手動・電動入力ダイアログ（図示せず。）が表示される。この手動・電動入力ダイアログにおいて、手動または電動を入力した後（S 1 3）、OK ボタンをクリックする。そうすると、次に、移動条件選択手段としての移動条件選択プログラムの作動により、図 1 1 に示すような、チェンブロックの移動の有無および移動方向を入力する移動条件選択ダイアログが表示される。この移動条件選択ダイアログにおいては、チェンブロックの移動の有無を選択し、移動する場合には、横行方向への移動の有無および走行方向への移動の有無を選択（S 1 4）し、その後 OK ボタン 4 3 をクリックする。

【 0 0 4 0 】

そして、このようにして入力された、荷物の重さ、下フックの移動距離、手動または電動、移動の有無および移動方向の各入力値は、RAM 4 において記憶され、次いで、チェンブロック特定プログラムにリンクする（S 1 5）。

【 0 0 4 1 】

チェンブロック特定プログラムにリンクした後は、上記したチェンブロック特定プログラムの処理が開始されるが、チェンブロックの動力方式を選択するステップ（S 1）においては、動作条件入力プログラムにおいて選択された入力値により、手動式であるか電動式であるかが自動的に判断されるので、まず、機種選択ダイアログが表示される。そして、ユーザが、自己が希望する機種を選択した後（S 2）は、型式選択プログラムにおける型式の選択（S 3～S 6）が、動作条件入力プログラムにおいて選択された入力値により判断され、ユーザが希望するチェンブロックの型式が特定されて（S 7）、その特定されたチェンブロックの標準仕様が、標準仕様表示画面 3 0 に表示される（S 8）。

【 0 0 4 2 】

すなわち、この型式の選択の判断において、定格荷重は、荷物の重さの入力値がそのまま入力され、また、結合方式の選択は、チェンブロックの移動が入力されていない場合には下フックが選択され、横行方向への移動が入力されている場合には、トロリが選択され、さらに、走行方向への移動が入力されている場合には、次に述べるクレーン特定プログラムの処理が実行される。なお、トロリの選択においては、図 6 に示すような結合方式選択画面 2 9 が表示され、ギヤードトロリ式、ブレントロリ式および電気トロリ式の各結合方式を選択する。

【 0 0 4 3 】

そして、ユーザは、標準仕様表示画面 3 0 に表示された標準仕様を確認して、自己が希望する仕様に変更したい場合（S 9 : Y E S）には、仕様変更プログラムによって、その標準仕様を適宜変更することにより、自己が希望する仕様のチェンブロックを特定し（S 9 : N O）、その後、図面表示プログラムが作動して、その特定された型式および仕様のチェンブロックの図面および仕様が表示されるチェンブロック仕様ダイアログが表示される（S 1 0）。

【 0 0 4 4 】

次いで、動作条件入力プログラムにおいて、チェンブロックの走行方向への移動が入力されていない場合には、そのまま処理が終了される（S 1 6 : N O）。

【 0 0 4 5 】

一方、動作条件入力プログラムにおいて、走行方向への移動が入力されている場合（S 1 6 : Y E S）には、図 1 2 に示すクレーン特定プログラムの処理が開始される（S 1 7）。すなわち、このクレーン特定プログラムは、チェンブロック特定プログラムによって特定されたチェンブロックを装備する天井クレーンを構築するものであって、まず、走行方式選択手段としての走行方式選択プログラムが作動して、図 1 3 に示すように、走行方式が、サスペンション式であるかトップランニング式であるかを選択する走行方式選択ダイアログが表示される。この走行方式選択ダイアログにおいて、ユーザは、サスペンション式を選択する場合には選択ボタン 3 7 をクリックし、また、トップランニング式を選択する

場合には選択ボタン 3 8 をクリックする (S 2 1)。その後、OK ボタン 3 9 をクリックすると、次に、サドル選択手段としてのサドル選択プログラムが作動して、電動式、ギヤード式およびブレン式の各サドルの選択が行なわれるが、動作条件入力プログラムにおいて選択された入力値により、手動式であるか電動式であるかが自動的に判断されている (S 1 3) ので、手動式である場合には、サドル選択ダイアログ (図示せず。) が表示され、ギヤード式およびブレン式のそれぞれ対応する選択ボタンを、ユーザが選択してクリックし、その後、OK ボタンをクリックする。一方、電動式である場合には、そのまま電動式が選択され、電源仕様を選択するための電源仕様選択ダイアログ (図示せず。) が表示されるので、その電源仕様選択ダイアログにおいて、周波数 (5 0 k H z または 6 0 k H z)、走行速度 (高速、低速、2 速) などを適宜選択または入力する。なお、トップランニング式の選択ボタン 3 8 をクリックし、その後、OK ボタン 3 9 をクリックした場合には、次のサドル選択ダイアログまたは電源仕様選択ダイアログが表示される前に、車輪を選択するための車輪選択ダイアログ (図示せず。) が表示されるので、その車輪選択ダイアログにおいて、ウレタン車輪か、または、鉄車輪かを適宜選択する。

【 0 0 4 6 】

そして、サドルが特定された後には、ビーム選択手段としてのビーム選択プログラムが作動して、定格荷重およびスパンを入力するビーム条件入力ダイアログ (図示せず。) が表示され、ビーム条件入力ダイアログにおいて、定格荷重およびスパンを入力 (S 2 3、S 2 4) して、OK ボタンをクリックすれば、その特定された型式および仕様のクレーンの図面および仕様が表示されるクレーン仕様ダイアログが表示される (S 2 5)。

【 0 0 4 7 】

このようなクレーン構築プログラムによると、ユーザが要求する型式のチェーンブロックを、より使用状態に対応した形式で簡単かつ効率的に選択することができるのと同時に、特定されたチェーンブロックを備えるクレーンシステムを、簡単かつ効率的に構築することができる。

【 0 0 4 8 】

なお、以上の説明では、クレーン特定プログラムを、クレーン構築プログラムの中で作動させるようにしているが、クレーン特定プログラムを単独で作動させるようにしてもよい。すなわち、その場合には、処理が開始されると、まず、図 1 3 に示す走行方式選択ダイアログにおいて、走行方式について、サスペンション式であるかトップランニング式であるかを選択した後、サドル選択ダイアログにおいて、電動式、ギヤード式およびブレン式の各サドルのうちからサドルを選択し（S 2 2）、次いで、ビーム条件入力ダイアログにおいて、定格荷重およびスパンを入力（S 2 3、S 2 4）すれば、その特定された型式および仕様のクレーンの図面および仕様がクレーン仕様ダイアログに表示される（S 2 5）。

【0 0 4 9】

また、クレーン構築プログラム中において、クレーン特定プログラムを作動させずに、動作条件入力プログラムおよびチェーンブロック特定プログラムのみを作動させるようにしてもよい。その場合には、動作条件入力プログラムの移動条件選択ダイアログにおいて、チェーンブロックの走行方向への移動の選択ができないようにしておけばよい。

【0 0 5 0】

また、以上の説明では、電子カタログ記録媒体を CD-ROM 1 2 として説明したが、本発明の電子カタログ記録媒体としては、CD-ROM 1 2 に限定されることなく、フロッピーディスク、光磁気ディスク、IC カードなど、プログラムを記録できる記録媒体であれば、その種類は問われない。

【0 0 5 1】

【発明の効果】

以上述べたように、請求項 1 に記載の発明によれば、ユーザ側において、自己が要求するチェーンブロックを簡単かつ効率的に選択することができる。したがって、使用条件などに応じて、ユーザ側で、その都度、最適のチェーンブロックを選択することができる。

【0 0 5 2】

請求項 2 に記載の発明によれば、型式まで選択すれば、すぐにその型式での標準仕様が表示されるので、その後は、標準仕様から変更したい仕様のみを適宜変

更すれば、自己が要求する最適の仕様を効率的に選択することができる。したがって、たとえば、型式を選択した後にも、細かい仕様を順次選択してチェーンブロックを選択する場合に比べて、迅速かつ効率的に最適のチェーンブロックを選択することができる。

【 0 0 5 3 】

請求項 3 に記載の発明によれば、型式まで選択すれば、すぐにその型式での標準仕様が表示されるので、その後は、標準仕様から変更したい仕様のみを適宜変更すれば、自己が要求する最適の仕様を効率的に選択することができる。したがって、たとえば、型式を選択した後にも、細かい仕様を順次選択してチェーンブロックを選択する場合に比べて、迅速かつ効率的に最適のチェーンブロックを選択することができる。

【 0 0 5 4 】

請求項 4 に記載の発明によれば、ユーザの知識に応じて、効率的に型式を選択することができる。

【 0 0 5 5 】

請求項 5 に記載の発明によれば、ユーザは、その仕様に応じたチェーンブロックを視覚で認識することができる。

【 0 0 5 6 】

請求項 6 に記載の発明によれば、ユーザが要求する型式のチェーンブロックを、より使用状態に対応した形式で簡単かつ効率的に選択することができる。

【 0 0 5 7 】

請求項 7 に記載の発明によれば、動作条件入力手段において、移動方向として走行方向が選択された場合には、そのまま、クレーン特定手段の処理が実行され、チェーンブロックを備えるクレーンシステムを簡単かつ効率的に構築することができる。

【 0 0 5 8 】

請求項 8 に記載の発明によれば、ユーザ側において、自己が要求するチェーンブロックを簡単かつ効率的に選択することができる。したがって、使用条件などに応じて、ユーザ側で、その都度、最適のチェーンブロックを選択することがで

きる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の電子カタログ装置としてのコンピュータシステムの一実施形態を示すブロック図である。

【図 2】

チェーンブロック特定プログラムの処理を示すフロー図である。

【図 3】

動力方式選択ダイアログを示す図である。

【図 4】

機種選択ダイアログを示す図である。

【図 5】

検索方式選択ダイアログを示す図である。

【図 6】

表示ダイアログを示す図である。

【図 7】

チェーンブロック仕様ダイアログを示す図である。

【図 8】

クレーン構築プログラムの処理を示すフロー図である。

【図 9】

定格荷重入力ダイアログを示す図である。

【図 1 0】

下フック移動距離入力ダイアログを示す図である。

【図 1 1】

移動条件選択ダイアログを示す図である。

【図 1 2】

クレーン特定プログラムの処理を示すフロー図である。

【図 1 3】

クレーン仕様ダイアログを示す図である。

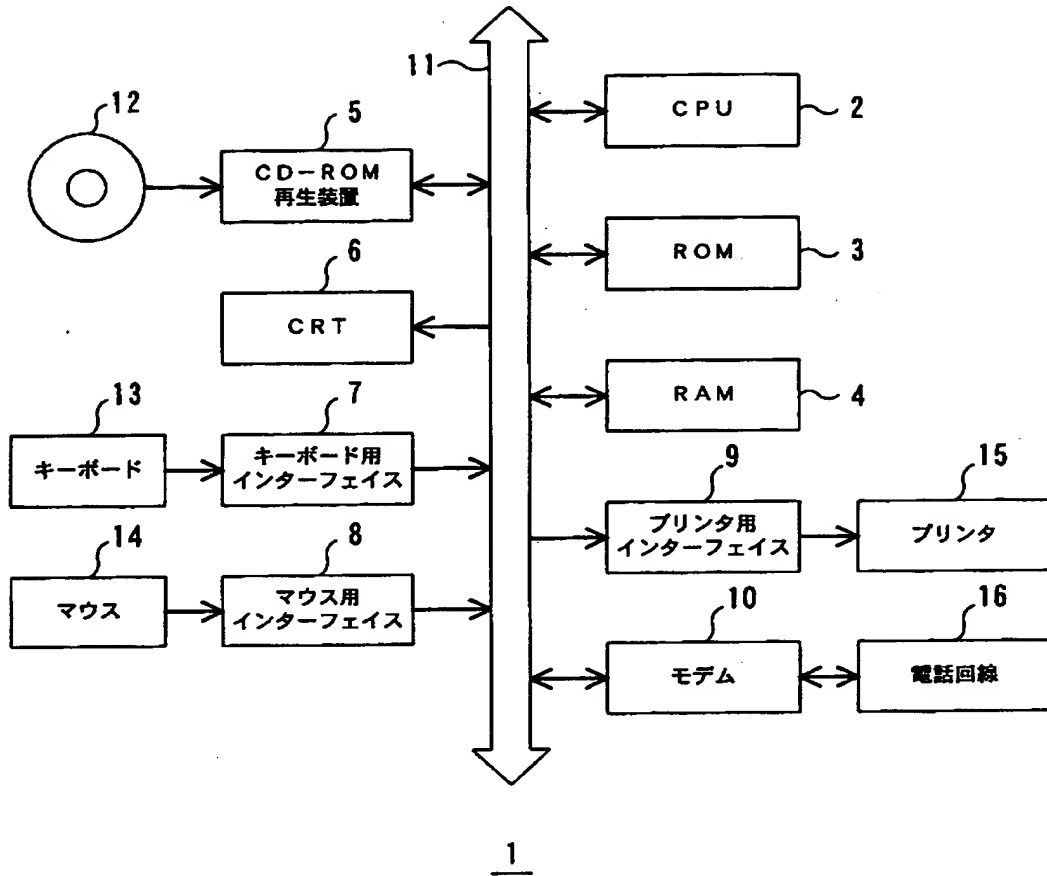
【符号の説明】

1 コンピュータシステム

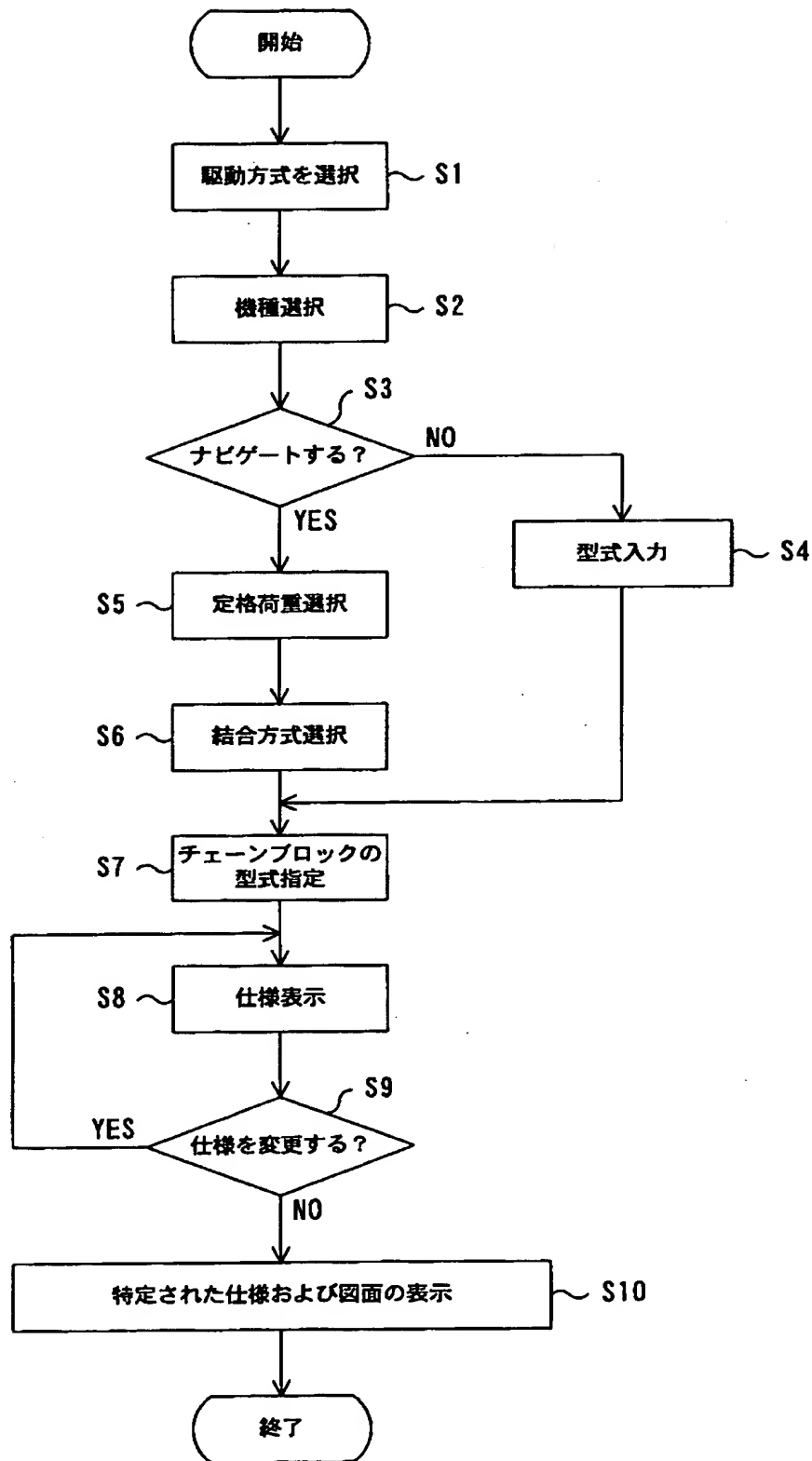
1 2 C D - R O M

【書類名】 図面

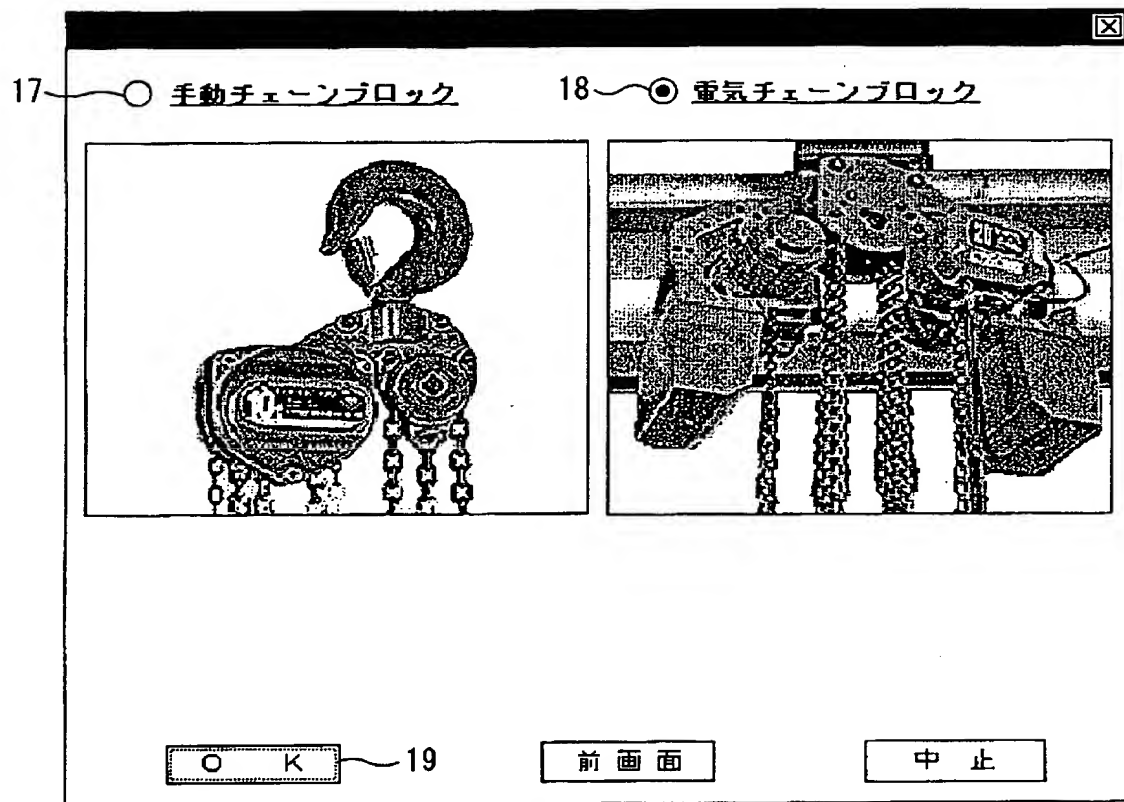
【図 1】



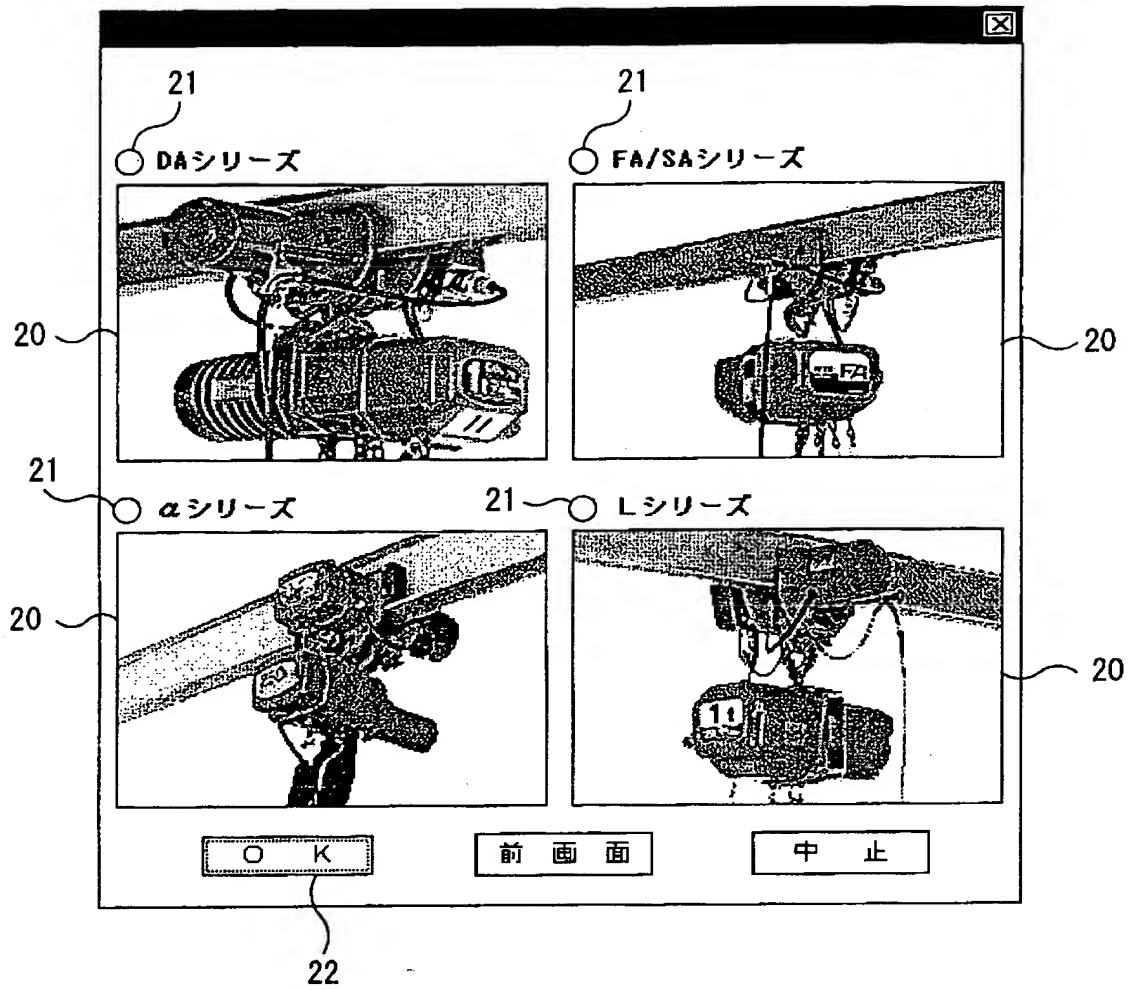
【図 2】



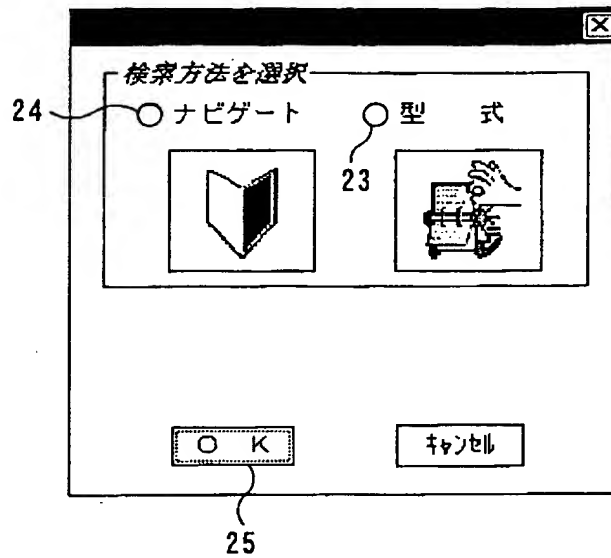
【図3】



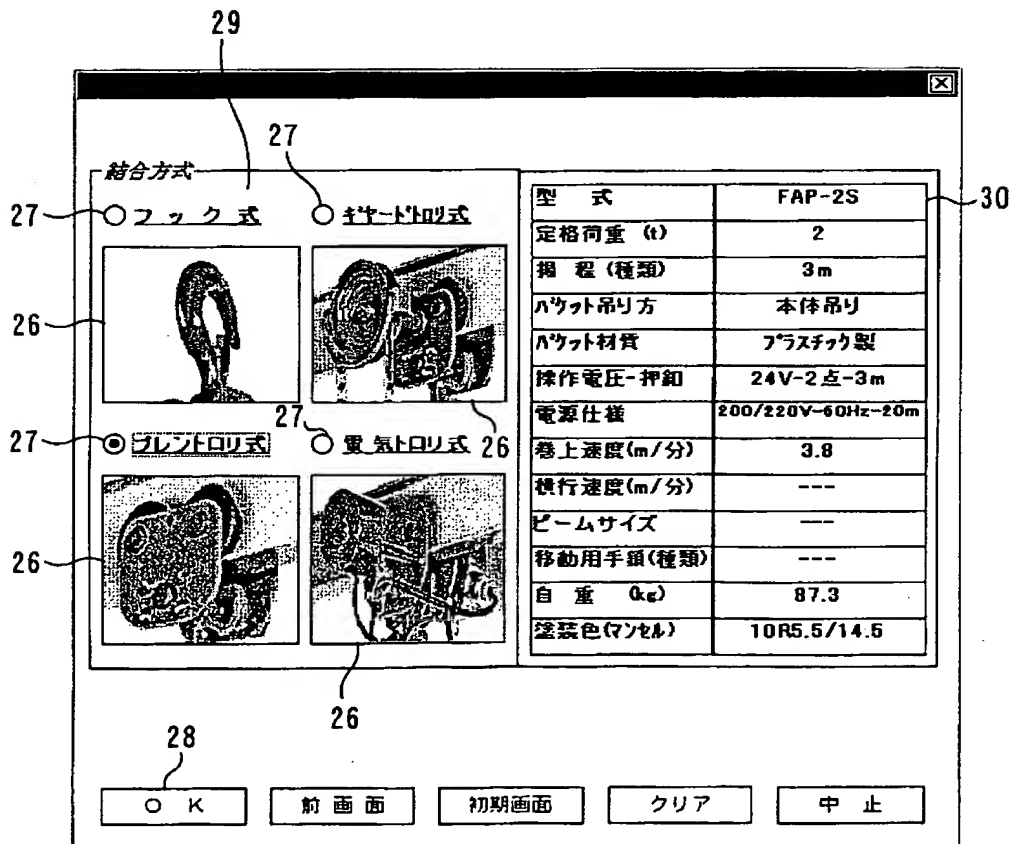
【図 4】



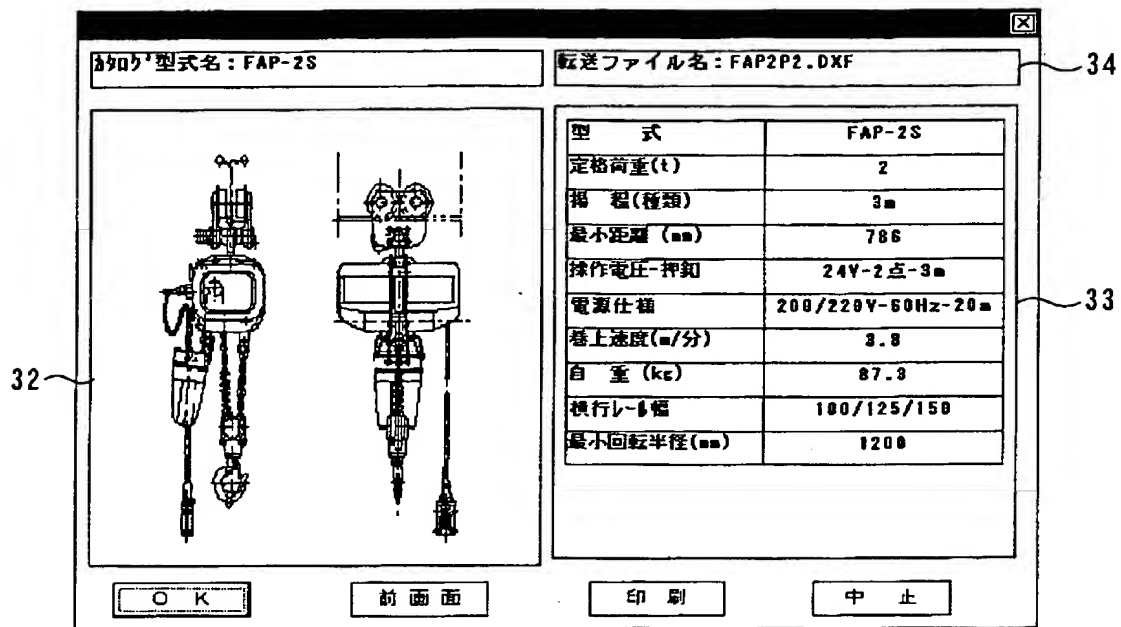
【図5】



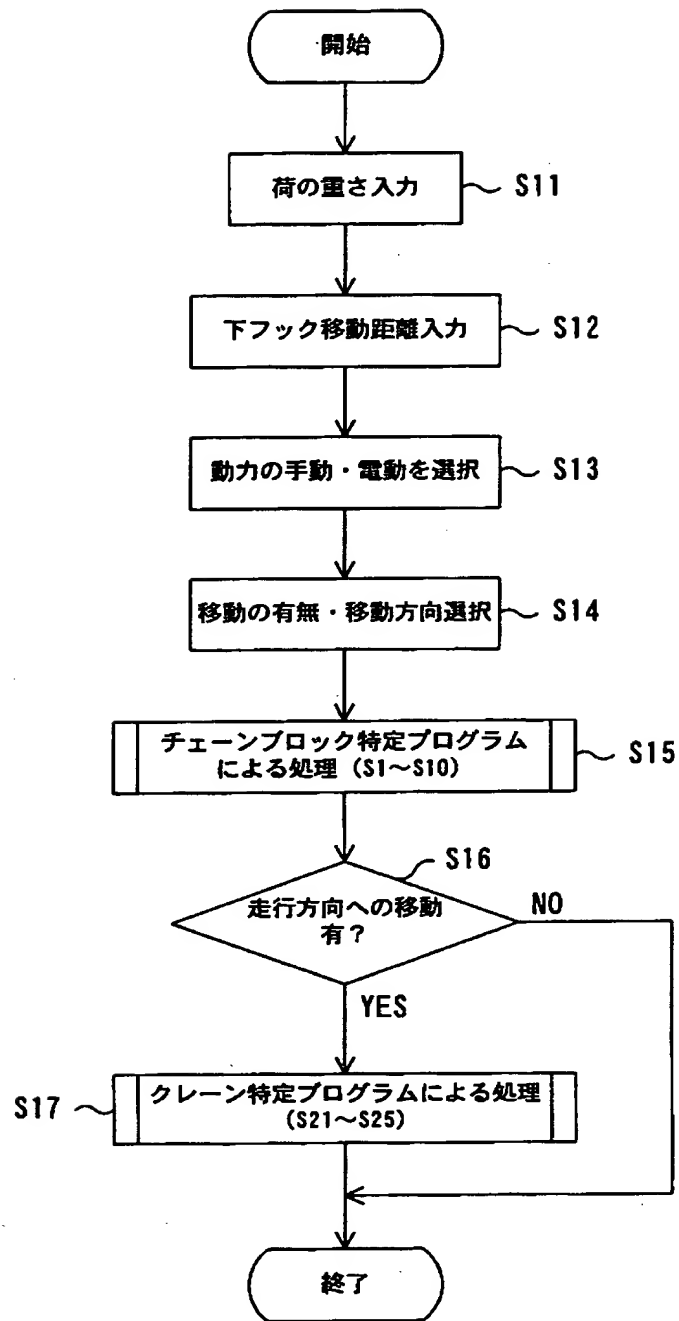
【図6】



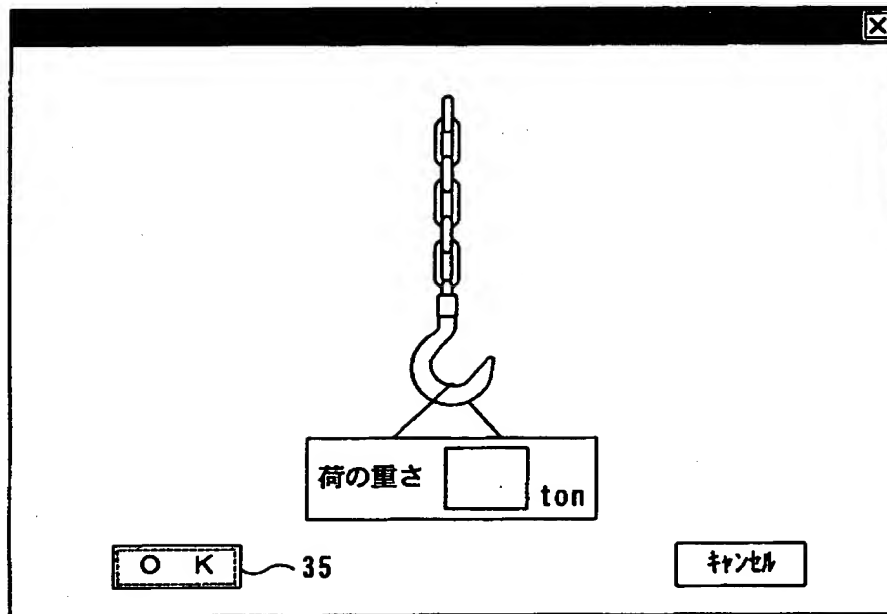
【図 7】



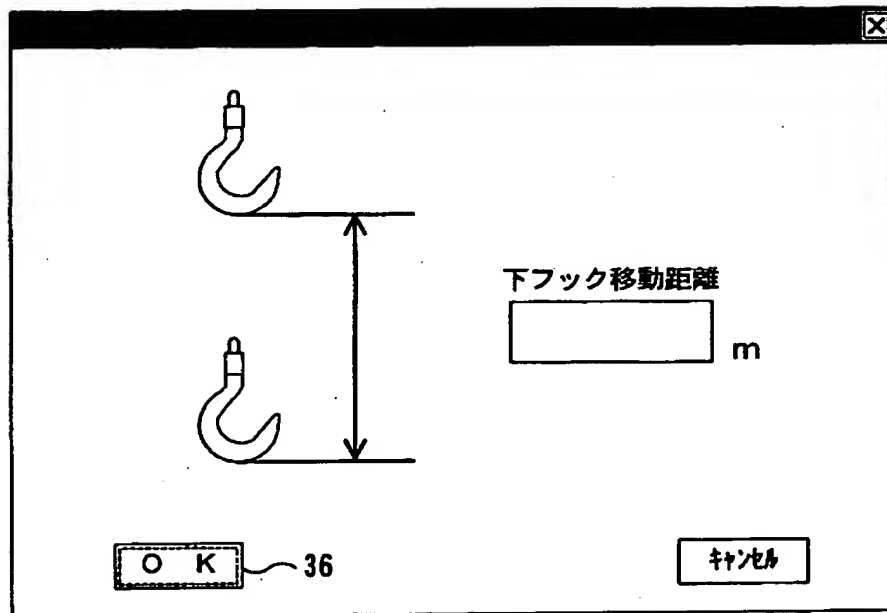
【図 8】



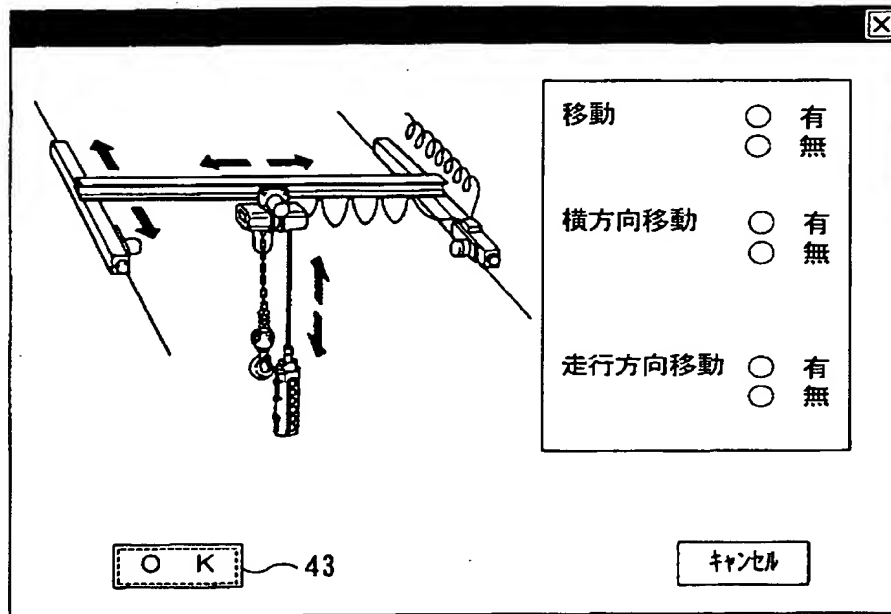
【図9】



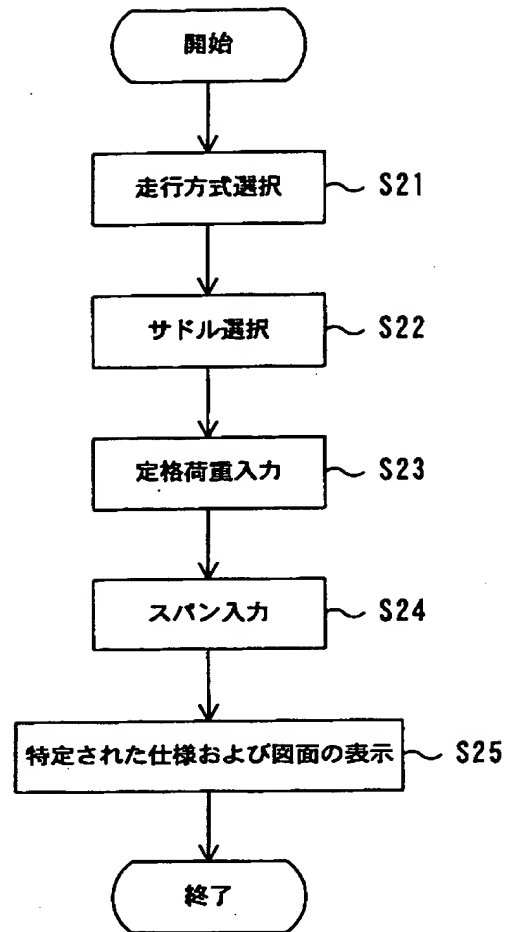
【図10】



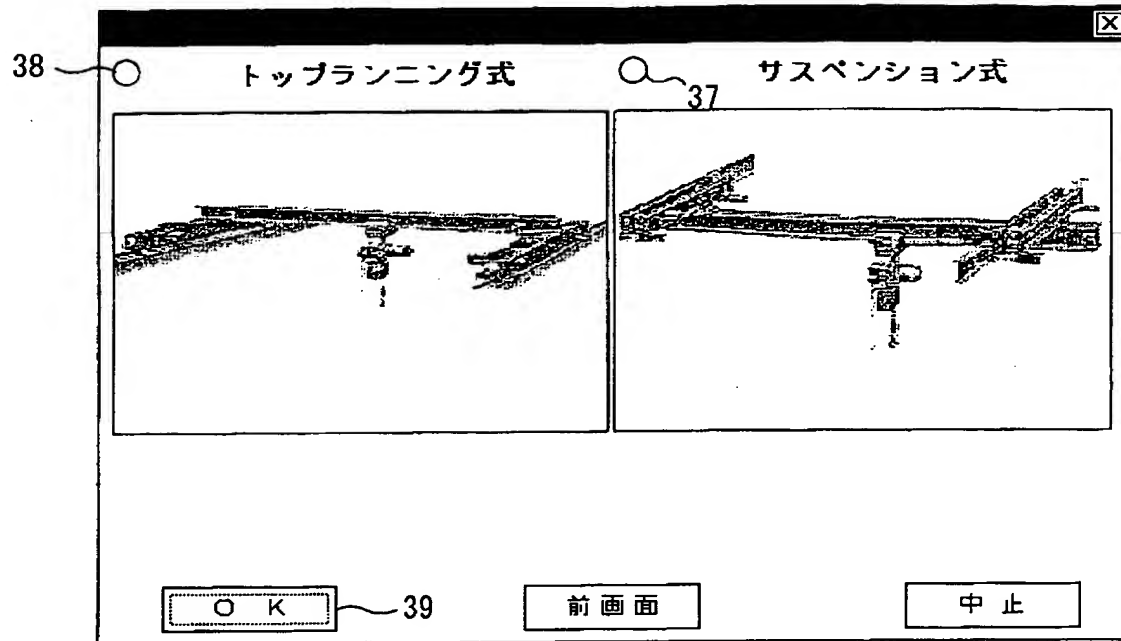
【図 1 1】



【図 1 2】



【図 13】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザ側において、自己が要求するチェーンブロックを、簡単かつ効率的に選択することのできるチェーンブロックの、電子カタログ記録媒体を提供すること。

【解決手段】 チェーンブロックの電子カタログ記録媒体に、チェーンブロックの駆動方式を選択する駆動方式選択プログラムと、駆動方式選択プログラムによって選択された駆動方式から、チェーンブロックの機種を選択するための機種選択プログラムと、機種選択プログラムによって選択された機種について、チェーンブロックの型式を選択するための型式選択プログラムとを記録する。

【選択図】 図 2

認定 - 付加情報

特許出願の番号	特願 2000-125387
受付番号	50000526755
書類名	特許願
担当官	塩崎 博子 1606
作成日	平成 12 年 5 月 8 日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	000189132
【住所又は居所】	大阪府大阪狭山市岩室 2 丁目 180 番地
【氏名又は名称】	象印チエンブロック株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100085143
【住所又は居所】	大阪市天王寺区四天王寺 1 丁目 14 番 22 号 日 進ビル小柴・岡本特許事務所

【氏名又は名称】	小柴 雅昭
----------	-------

【選任した代理人】

【識別番号】	100103517
【住所又は居所】	大阪市天王寺区四天王寺 1 丁目 14 番 22 号 日 進ビル小柴・岡本特許事務所

【氏名又は名称】	岡本 寛之
----------	-------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 1 8 9 1 3 2]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 8 月 3 0 日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪府大阪狭山市岩室 2 丁目 1 8 0 番地
氏 名	象印チエンブロック株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKewed/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.